



田中泰宏副市長と意見交換



5・3 憲法街宣

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの

SIDE-A



弘前の桜笑って散りました
(はるみのワクワク川柳)

安藤はるみの活動日誌

- 4月10日 りんご雪害問題で弘前副市長・りんご協会技師と意見交換(写真)
雪害りんご園地調査
- 12日 小沢支部と街宣、大弾圧記念集会、ねふた参加団体協議会総会
- 13日 文京支部と要求アンケート活動
- 16日 ホタテ問題対策会議(写真B面)
- 17日 弘前職業能力開発校入校式
- 18日 弘前さくらまつり開催記念セレモニー
- 19日 全国統一街宣
- 20日 憲法9条つがる女性の会
「桜まつりアピール行動」(写真B面)
- 21日 経済交通観光委員会(写真B面)
- 23日 大成支部と要求アンケート活動
- 24日 「核のゴミから未来を守る県民の会」
要望書提出出席
- 25日 桔梗野支部要求アンケート活動
- 26日 「核のゴミから未来を守る県民の会」
講演会・北海道教育大学名誉教授岡村聡氏(地質学)「地震大国日本に地層処分の適地はない」
- 27日 小学校同期会
- 28日 秋田県海上風力発電調査
(県・日本共産党秋田県委員会)(写真)
- 5月1日 メーデー
- 3日 憲法街宣(写真)
- 5日 消防観閲式



AOW 風みらい館にて



加賀屋千鶴子秋田県議会議員らと意見交換

4月26日は青森県に高レベル放射性廃棄物が運び込まれて30年目に突入した日となりました。1995年4月26日六ヶ所村の日本原燃・貯蔵施設に、日本の電力会社から使用済み核燃料の再処理を委託され、その際に発生した高レベルガラス固化体28本がフランスから運び込まれました。(現在は既にフランスから130本、イギリスから520本が返還され貯蔵中)当初の予定は4月25日でしたが、当時の木村守男知事が輸送船の接岸拒否をしたため一日遅れの26日となりました。当時は1日だけのパフォーマンスかと感じたものでした。元県むつ小川原開発室長の成田正光氏は当時を振り返って「木村知事は前年に北村正哉知事が国に取り付けた『青森県が処分地に選定されることはない』とした94年確約書は甘いとして接岸拒否を表明し、当時の田中真紀子科学庁長官が折れて「知事の了承なくして青森県を最終処分地にできないし、しないことを確約する」を提示し、木村知事がそれを了承した」と述べています。しかし、「了承する知事が誕生したらどうなるのだろう」という疑念が残ります。

さてこの高レベル放射性廃棄物は、当時県・村・日本原燃が結んだ安全協定で貯蔵期間は30年から50年間と明記されました。しかし、一時保管した後運び出す処分場が決まっていまません。処分場を決めるまでには、強い放射線を出すガラス固化体を10万年間貯蔵に耐えうる場所を見極めるための調査が必要で、応募した自治体の文献調査、概要調査、精密調査に30年が必要とされています。現在は手をあげた寿都町・神恵内村の文献調査が行われ当初の予定2年の倍の4年かかり報告書(案)が示された段階です。

既に貯蔵30年経過していますから50年経った時に処分場が完成していないことが十分考えられます。その時に50年経過したガラス固化体をどこに運び出すのか未だ明快な答えは出されていません。

最後に付け加えたいことは日本の地学専門家300余名が「地震大国日本に地層処分の適地はない。寿都町・神恵内村の文献調査報告書(案)は何が問題か」の全国声明を出し「科学的根拠に乏しい最終処分法は廃止し、地上での暫定保管を含む原発政策の見直しを視野に、地層処分ありきの従来の政策を再検討すべき」と訴えているこの科学者たちの声に真摯に耳を傾けるべきだと思います。

(高レベル放射性廃棄物)

ぼつとタイム



発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00~14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス [http:// ando-harumi.com/](http://ando-harumi.com/)

X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー803人

4月の相談件数4件
ホームページアクセス数 4月88,444件

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

SIDE-B

アジサイ便りを読んでのご感想や、委員会など議会で取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください♪



4月21日経済交通観光委員会での質問

〔経済産業部〕

●トランプ関税の工業分野での県内企業への影響と県の対応について

築田隆経済産業政策課長「米国の総合関税措置の発動を受け、工業分野での県内企業への影響を把握するため県内の自動車部品メーカーや誘致企業等にヒアリングを行った。その結果現時点で影響は顕在化していないが今後の見通しは不透明。今後を注視。4月4日に県内金融機関及び商工団体等の関係機関に対し、中小企業からの県特別保証融資制度の活用など適切に対応するよう要請した」と答弁。

安藤は「協定や国際ルールを無視したトランプ関税に毅然と撤回を求めるよう国に要請すること」を求めました。

●物価高騰による県内企業への影響と県の取組について

築田隆経済産業政策課長「県内中小企業の経営環境は厳しい状況が続いていると認識。物価高による事業活動や県民生活への影響の緩和を図るため、

中小企業者等に対するLPガス及び特別高圧電気料金への支援や燃料等の価格上昇の影響を受けているトラック運送事業者に対する支援等各分野への支援策を講じた。また、適切な価格転換の促進の他販売力収益力強化や生産性向上に向け支援していく」と答弁。

安藤は、物価高騰から暮らし営業を守るために、大企業・富裕層への減税やめ軍事費を減らして財源を生み出し、消費税廃止を目指し緊急に5%に、インボイス廃止を国に求めるよう訴えました。

〔交通・地域社会部〕

●弘南鉄道大鰐線の運行休止に対する県の受け止めこれまでの支援について

菊地礼仁鉄道対策課長「沿線市町と協議の上令和9年度を持って運行休止を決定したことは残念なことであるが、交通事業者としては苦渋の決断であったと考える。県としては令和9年度末までの運行期間中の安全運行と休止後の代替交通が確保されるよう沿線市町と連携している」と答弁。

安藤は運行休止決定がこれまでの利用者にとつて大きな衝撃となつていて、伝え、県は事業者に対するアドバイス、機会はあるのか再質問。それに対し鉄道対策課長は「平成25年6月に同社の株主総会で社長が2017年3月で大鰐線を廃止するとの発言があり、その後弘前市大鰐町中心に県も入り活性化を取り組むとともにあり方について協議してきたが、会社が弘南線に集中したいとのこと、11月21日の弘南鉄道臨時取締役会で大鰐線の廃止休止を意思決定し、市町県に協議を求められたものではない」と答弁。

これまでの大鰐線に対する支援について鉄道対策課長は「国及び沿線市町と協調して枕木等安全輸送設備などの整備に対する補助や令和7年度まで安全輸送設備整備の事業者負担分等運行欠損を全額補助し、令和8・9年度は運行維持に必要な公的支援を行う」と答弁。安藤は日本大学名誉教授の桜井とおる氏の「鉄道を含む交通政策について国の責任を明確にする必要性」を紹介し、国にも声をあげよと訴えました。このほか代替交通検討スケジュールについても質問しました。

この他●特別豪雪地帯の指定状況(今年の豪雪による災害救助法が適用された10市町村のうち青森市と黒石市だけ。弘前市の場合合併前の旧相馬村だけが特別豪雪地帯指定。指定によるメリットを考え指定範囲を広げるよう国に求めよ)●路線バスの運転手不足なども取り上げました。

〔観光交流推進部〕

●本県の世界遺産を活用した誘客について

小橋弘子誘客交流課長は「白神山地及び北海道東北の縄文遺跡群の誘客に取り組んできた。白神山地についてはJR日本などと連携し、講座の開催、ガイドを案内するトレッキングツアーなどを実施。世界遺産30周年になった令和5年度には、全国の主要駅へのポスター提出などによる周知を図った。縄文遺跡群については首都圏の旅行会社などを対象に遺跡を活用した旅行商品造成や教育旅行の誘致などを図ってきた。

今後は、ホームページやSNS、パンフレットなどを活用し世界遺産への興味・関心を高めるための情報発信でさらなる誘客促進に取り組んでいく」と答弁。

この他●青森県立美術館の新館長就任について(新館長に就任した平田オリザ氏に期待する立場で)質問しました。

～お知らせ～

★4月から経済交通観光委員会所属に

取り上げて欲しい課題などありましたらお知らせ下さい。

★ジェンダー平等シンポジウムにご参加を

日時 5月11日13時半～15時半

場所 文化センター第1会議室にて

主催 日本共産党津軽地区委員会ジェンダー平等委員会

★今年度も横断歩道塗り直し要望提出予定

停止線も合わせお気づき場所の情報をお知らせ下さい。

(7月31日まで)



桜まつりアピール行動

はるみ事務所の風

音楽

文化情報

ピエラスト角野隼斗(すみのはやと)の世界ピエアルバム『Human Universe』が、第39回日本ゴールドディスク大賞「クラシック・アルバム」を受賞した。自ら作曲、編曲した作品に加え、バハ、フォーレ、バーセル、坂本龍一の作品など16曲を取録。聞かれた全曲にも、角野流のアレンジが加えられ「これがピアノの音」という驚きも！圧巻はラヴェルの「ボレロ」。通常はオーケストラ演奏のこの曲、ピアノのみの一人演奏用に編曲。左手で正確なリズムを刻みながら、主旋律は次第に重層的な力方を増していく。その任意的な技巧と独創性に魅される。

角野隼斗「Human Universe」

4月の新婦人しんぶんに掲載しておりました。こんなに大満足なアルバムは久しぶりです。もう世界がすごい！癒される。それこそ宇宙っぽい。CDなのに！！生の演奏じゃないのに！！ズ～リ引き込まれる。すごい人(=)

この角野隼斗さん『プリペアド・ピアノ』なるものをやっております、ピアノの弦にネジとかゴムとかを挟んで音色を変えするという演奏方法。

いろんな音が出て面白いなと思いました。

演奏会では、アップライトピアノとグランドピアノとシンセサイザーを使っていたそう。すごいわ。

葛原未来



ホタテ問題対策会議